

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2026年1月～3月期実績、2026年4月～6月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

産業全体は売上額D I・採算D Iが悪化、資金繰りD Iが上昇































今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△3.4、採算D Iが△16.8となり、対前期比でそれぞれ△2.3ポイント、△3.9ポイント悪化したが、資金繰りD Iは△7.9となり、対前期比で1.1ポイント上昇となった。

次期は、売上額D I・採算D Iが好転、資金繰りD Iが上昇する見通しである。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △3.4（対前期比 △2.3悪化） 次期予想 0.5（対前期比 3.9好転）
- ・採算D I △16.8（対前期比 △3.9悪化） 次期予想 △13.0（対前期比 3.8好転）
- ・資金繰りD I △7.9（対前期比 1.1上昇） 次期予想 △4.0（対前期比 3.9上昇）

産業全体景況天気

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2025年4月～6月		△12.4 		△28.3 		△20.2 
2025年7月～9月		△9.5 		△14.0 		△15.7 
2025年10月～12月		△1.1 		△12.9 		△9.0 
2026年1月～3月		△3.4 		△16.8 		△7.9 
2026年4月～6月 （見通し）		0.5 		△13.0 		△4.0 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は売上額D Iが上昇、採算D Iが悪化、資金繰りD Iが好転































製造業では、売上額D Iが△17.2となり対前期比で2.3ポイント上昇し、採算D Iは△20.0となり対前期比で△3.3ポイント悪化し、資金繰りD Iは△5.7となり対前期比で14.3ポイント好転となった。

次期は、売上額D I・資金繰りD Iが上昇、採算D Iが好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △17.2 (対前期比 2.3 上昇) 次期予想 △ 2.9 (対前期比 14.3 上昇)
- ・採 算D I △20.0 (対前期比 △3.3 悪化) 次期予想 △11.4 (対前期比 8.6 好転)
- ・資金繰りD I △ 5.7 (対前期比 14.3 好転) 次期予想 △ 2.8 (対前期比 2.9 上昇)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2025年4月～6月		△18.9 		△37.8 		△35.1 
2025年7月～9月		△47.2 		△16.7 		△16.7 
2025年10月～12月		△19.5 		△16.7 		△20.0 
2026年1月～3月		△17.2 		△20.0 		△ 5.7 
2026年4月～6月 (見通し)		△ 2.9 		△11.4 		△ 2.8 

(2) 建設業

建設業はすべての指標で悪化































建設業では、売上額D Iが0.0、採算D Iが13.1、資金繰りD Iが8.7となり、対前期比でそれぞれ△17.4ポイント、△8.6ポイント、△4.3ポイント悪化となった。

次期は、売上額D I・採算D Iが好転、資金繰りD Iが低下する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 0.0 (対前期比 △17.4 悪化) 次期予想 13.1 (対前期比 13.1 好転)
- ・採算D I 13.1 (対前期比 △8.6 悪化) 次期予想 13.7 (対前期比 0.6 好転)
- ・資金繰りD I 8.7 (対前期比 △4.3 悪化) 次期予想 4.3 (対前期比 △4.4 低下)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	値	天気	値	天気	値
2025年4月～6月		△4.3 		△13.0 		0.0 
2025年7月～9月		13.0 		4.3 		4.4 
2025年10月～12月		17.4 		21.7 		13.0 
2026年1月～3月		0.0 		13.1 		8.7 
2026年4月～6月 (見通し)		13.1 		13.7 		4.3 

(3) 小売業

小売業は売上額D Iが上昇、採算D Iが好転、資金繰りD Iが悪化
















小売業では、売上額D Iが△2.1となり、対前期比で10.6ポイント上昇、採算D Iが△20.9となり、対前期比で11.0ポイント好転、資金繰りD Iは△18.7となり、対前期比で△1.7ポイント悪化となった。

次期は、売上額D Iが悪化、採算D Iが上昇、資金繰りD Iが好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △2.1 (対前期比 10.6 上昇) 次期予想 △4.3 (対前期比 △2.2 悪化)
- ・採算D I △20.9 (対前期比 11.0 好転) 次期予想 △17.1 (対前期比 3.8 上昇)
- ・資金繰りD I △18.7 (対前期比 △1.7 悪化) 次期予想 △6.4 (対前期比 12.3 好転)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I			採算D I			資金繰りD I		
	天気	数値	変化	天気	数値	変化	天気	数値	変化
2025年4月～6月		△29.8	↓		△31.9	↓		△21.2	↓
2025年7月～9月		△12.8	↗		△23.4	↗		△23.4	↓
2025年10月～12月		△12.7	↗		△31.9	↓		△17.0	↗
2026年1月～3月		△2.1	↗		△20.9	↗		△18.7	↓
2026年4月～6月 (見通し)		△4.3	↓		△17.1	↗		△6.4	↗

(4) サービス業

サービス業はすべての指標で悪化































サービス業では、売上額D Iが1.4、採算D Iは $\Delta 21.9$ 、資金繰りD Iが $\Delta 6.8$ となり、対前期比でそれぞれ $\Delta 8.2$ ポイント、 $\Delta 12.2$ ポイント、 $\Delta 1.3$ ポイント悪化した。

次期は、売上額D Iが低下、採算D I・資金繰りD Iが好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 1.4 (対前期比 $\Delta 8.2$ 悪化) 次期予想 1.3 (対前期比 $\Delta 0.1$ 低下)
- ・採算D I $\Delta 21.9$ (対前期比 $\Delta 12.2$ 悪化) 次期予想 $\Delta 19.2$ (対前期比 2.7 好転)
- ・資金繰りD I $\Delta 6.8$ (対前期比 $\Delta 1.3$ 悪化) 次期予想 $\Delta 5.5$ (対前期比 1.3 好転)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	数値	天気	数値	天気	数値
2025年4月～6月		0.0 		$\Delta 25.7$ 		$\Delta 18.3$ 
2025年7月～9月		4.1 		$\Delta 12.3$ 		$\Delta 16.5$ 
2025年10月～12月		9.6 		$\Delta 9.7$ 		$\Delta 5.5$ 
2026年1月～3月		1.4 		$\Delta 21.9$ 		$\Delta 6.8$ 
2026年4月～6月 (見通し)		1.3 		$\Delta 19.2$ 		$\Delta 5.5$ 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	14.3%	生産設備、車両運搬具 付帯施設、OA機器	20.0%	生産設備、車両運搬具 OA機器
建設業	13.0%	建設機械、車両運搬具 OA機器	21.7%	土地、車両運搬具 その他
小売業	6.3%	車両運搬具、付帯施設 その他	14.6%	店舗、販売設備 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他
サービス業	15.1%	土地、建物 サービス設備 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	11.0%	土地、建物 サービス設備 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他

4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	29.2%
	2位	需要の停滞	16.7%
	3位	製品ニーズの変化	12.5%
原材料費・人件費以外の経費の増加		12.5%	
建設業	1位	従業員の確保難	31.3%
	2位	材料価格の上昇	18.8%
		熟練技術者の確保難	18.8%
小売業	1位	仕入単価の上昇	41.5%
	2位	大型店・中型店の進出による競争の激化	17.1%
	3位	消費者ニーズの変化	14.6%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	32.1%
	2位	従業員の確保難	15.1%
	3位	需要の停滞	11.3%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

2026年1月から3月までの第4四半期を対象とし、調査時点は2026年3月1日。






(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業23企業、小売業48企業、サービス業73企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

令和 8年 5月27日作成
愛知県商工会連合会 広域経営支援センター
TEL : 052-562-0041